

1、全体

夏到来で柵内の木々も草ものびのびと繁り、水路が見通せぬほどの元気良さであった。貫井橋下流の右岸(南側)路肩の楓が路肩のくずれで根元から倒れ、水路を通り越して左岸(北側)にまで届く横倒しとなり、葉がほぼ枯れた状態となっていた。又、茜屋橋下流の北側の雑木が傾き、一部が欄干を越えて歩道にまで達していた。上水の路肩のくずれがすすむと桜の補植にも影響するので心配だ



2、桜樹

小金井橋の南側の記念樹(三吉野桜)に大きなサクランボが黒く熟れていた。北側の記念樹(北上桜)は花は咲いたが今年も実はつけなかった。右岸の桜樹は殆んどが実をつけていた。No.880(オオシマ系)は特に実が大きくまた多く実っていた。No.892には大きなベッコウタケと思しきキノコが生えていて胸が痛んだ。No.893のヒコバエに実がついていたのには驚いた。枯れて伐採された左岸の古木 No.231 の切り株から生えたヒコバエが元気に育っていた。



小金井橋記念植樹三吉野

No.892のベッコウタケ?

No.873ヒコバエについた実

3、緑道

右岸(南側)歩道柵外の雑草は綺麗に刈られ整備されていた。左岸の柵外の雑草は未整備だったにもかかわらず歩道が舗装されている為かそれほど気にならなかった。右岸はタチアオイやガクアジサイ等いろいろな花が植えられ綺麗だったし、左岸の柵内はドクダミが満開で可愛かった。

